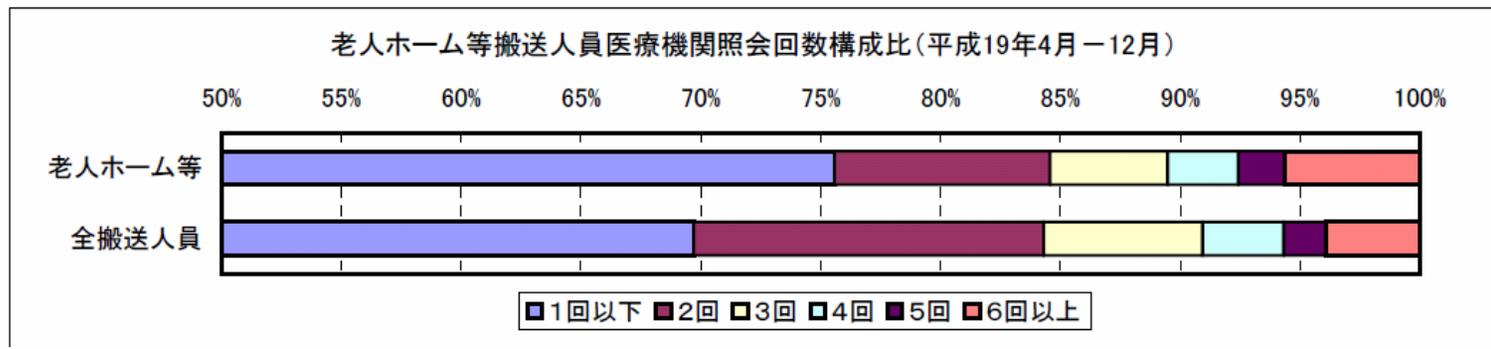
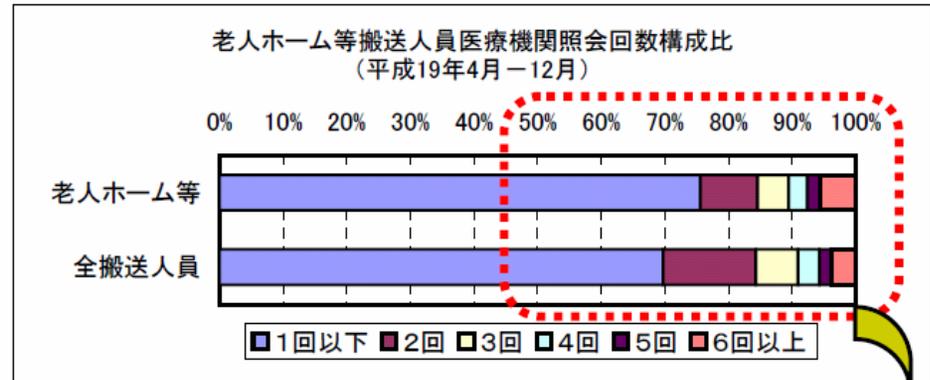


5. 老人ホーム等搬送人員医療機関照会回数構成比

3 医療機関照会回数

連絡回数	老人ホーム等搬送人員		全搬送人員	
	実数	構成比	実数	構成比
1回以下	9,291	75.6%	324,471	69.7%
2回	1,105	9.0%	68,067	14.6%
3回	603	4.9%	30,850	6.6%
4回	362	2.9%	15,747	3.4%
5回	237	1.9%	8,307	1.8%
6回以上	694	5.6%	18,144	3.9%
計	12,292	100.0%	465,586	100.0%



データに関する注意点

- 1 東京消防庁の救急隊が出場した事案に限定しています。(東久留米市、稲城市、島しょ地区の救急隊の事案は対象外)
- 2 老人ホーム等で発生し、医療機関へ搬送した傷病者を対象としています。(施設職員、入居者家族が傷病者である場合を含みます。)
- 3 老人ホーム等の定義については、データ集計に明確な解釈はありません。特別養護老人施設等の内訳の細分化集計は不能です。
- 4 現場滞在時間とは、救急車が現場に停車した時間から医療機関に向けて出発した時間までの所要時間を指します。
- 5 医療機関照会回数とは、救急隊又は東京消防庁総合指令室が医療機関に連絡した述べ回数を指します。
- 6 医療機関照会回数に関する統計は、平成19年4月から集計可能となった関係から、それ以前のデータ集計は不能となっています。

東京消防庁救急部作成資料(H20.5.29)

- 医療機関照会回数が2回以下であった割合は、老人ホーム等と全搬送はほぼ等しい。
- 6回以上であった割合は、老人ホーム等が全搬送より高い。

6. 調査結果について

結果

- H10年の4.7倍まで急増。しかし、全体に占める割合は3%未満。
- 滞在時間と照会回数に見る限り、老人ホーム等からの搬送の場合が特に受入病院の選定が困難な状況とは言えない。
- 救急の現場からは、後期高齢者の搬送に困っているとの声を聞くが、今回の調査をどうとらえるか。